



11月おはなし会



# おいでよ！ まちの図書館へ

●休館(室)日  
(香我美・野市図書館) 11月/3・4・10・13・17・23・24  
(夜須図書館) 11月/3・24  
(吉川図書館) 11月/1・2・3・8・9・15・16・22・23・24・29・30

新着案内 香我美図書館より ☎ 55-0022

## 「なんじゃもんじゃ クリスマス☆スペシャル」

毎年恒例となったなんじゃもんじゃのクリスマス会。今年のクリスマス会は12月13日(土)です！幼稚園から小学生を対象に、手づくり人形劇やパネルシアターなどをします。

乳幼児向け(0～4歳児)の「プチ・なんじゃもんじゃ」のクリスマス会は12月6日(土)です。どちらも小さなプレゼント付きです。(申込みが必要。申込書は香我美図書館カウンターで配布します)11月22日(土)のなんじゃもんじゃではこちらも毎年恒例のまつぼっくりのクリスマスツリーを作りますよ！(申込みは不要。なんじゃもんじゃに来てね！)

- ◆天神のとなり 五條 瑛/著
- ◆終末のパラドックス 桂木 希/著
- ◆黒の狩人(上・下) 大沢在昌/著
- ◆生活防衛ハンドブック 小若順一・食品と暮らしの安全基金/著
- ◆瀬戸内寂庵さんと行く「源氏物語」こころの旅 家庭画報編集部/編

- ◆13番目の魔女(魔女の本棚・4) ルース・チュウ/著
- ◆おこる 中川ひろたか/作・長谷川義史/絵
- ◆16歳。死ぬ前にしてみたいこと ジェニー・タウンハム/著

新着図書より Pick up!

『告白』 湊かなえ/著  
物語は3月の終業式の日、わが子を亡くした女性教師がホームルームの場で2人の少年を自ら裁くという衝撃的な告白から始まります。事件に関わりのある「級友」「犯人」「犯人の家族」からモノローグ形式で語らせ、事件の真相に迫っていくのですが、読み出したら先が気になってやめられなくなること間違いなしの1冊です。宮部みゆきや東野圭吾のミステリー小説が好きな人にぜひオススメします！

11月の展示 トールペイント展 11月20日(木)～30日(日)

新着案内 吉川図書館より ☎ 55-0525

- ◆裁判員法廷 芦辺 拓/著
- ◆食卓の安全学 松永和紀/著
- ◆アラミスと呼ばれた女 宇江佐真理/著
- ◆おばけかぼちゃ たちのけいこ/作・絵
- ◆プカプカチョコレー島 原ゆたか/作・絵
- ◆じゃがいもレストランへいらっしやい 横山充男/編・新野めぐみ/絵



信じるか信じないかは...  
あなた次第です。おはなし?

## 『あなたのために』 辰巳芳子/著 いのちを支えるスープ

人の生命の行き着くところは  
愛し愛され一つになることを願い  
それをあらわさずにはおられぬ仕組みが  
生きるところにあると思います。

人間の尊厳も自由も  
互いに愛惜せねばならぬ根源も  
ここに見いだされてなりません。

これが、スープの湯気の向こうに見える  
実存的使命です。

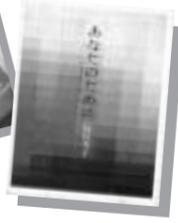
野市

絵本読み聞かせ...8日・22日(土)  
おはなしの会...5日・19日(水)

香我美

なんじゃもんじゃ...8日・22日(土)  
プチなんじゃもんじゃ...15日(土)

今月のおすすめ



# こじゃんと!こうなん! ⑧

香南市を「こじゃんと」紹介する  
「香南市観光協会」のコーナーです

KONAN City  
海山観光協会  
☎ 56-5200

行楽の秋  
ミカンの香りに  
包まれよう!



## 「秋の山北めぐりの巻」

秋の新名所といえは香我美町にある「城山公園の懸崖菊」です。昨年も大型バスが県外から何台も来られ、大人気のスポットになっています。



新名所「懸崖菊」

ここは最近、人々に注目されている地区です。城山公園の少し奥には「イングリッシュガーデンハウス」があり、この季節、白くてかわいい野路菊や薔薇、ハーブもよいにおいを漂わせています。店内では食べごろの「水晶文旦」や「秋の限定スイーツ」が楽しめます。



イングリッシュガーデンハウス

さらにその少し奥に「徳中庵」という古い民家を改造した「和」の雰囲気を楽しめるお店もあります。「あれ?山北みかん?」というような秋の和菓子も味わえます。

そして、今度は少し道を下ると「泰山窯」という素敵な工房があります。こちらの川村さんは「(社)日本工芸会正会員」であり、地元・山北の土を100%使った器も焼かれています。工房の軒先には川村さん作の可愛い「山北みかん」の風鈴がぶら下がっています。



夢があり、遊び心を忘れない川村さんの作品をぜひ一度鑑賞してみませんか?今、ちょうど芸西村で「作陶展」が開催されています。

- 会期 11月1日(土)～10日(月) 10時～18時(最終日・17時まで)
- 会場 「考える村」考堂 芸西村西分甲2505-2 ☎ 0887-33-3681



この11月「香我美町山北地区」で、花を愛で、器を愛で、仕上げに秋の味覚を楽しんでみませんか? ※今回紹介の施設は観光協会へ問い合わせください。

# 文芸

## 夜須短歌に親しむ会

秋風の季を告げきぬ木立より蝉しぐれ消ゆ朝明けの空  
清藤 幸男  
真つ直ぐに信じて歩む広き道足を取らるるブラックホール  
内田 道子  
耐え難きニュースの続く日々を生くパンドラの箱開けし過ち  
山崎 芳子  
彼岸花ボキボキ折りし遠き日よ 八十路の手には一枝を持つ  
吉田美和子  
蝉しぐれ父の背中を思いだす淀川沿いの並木の小路  
筒井 友治  
夜の闇を映す鏡に一輪の人影まばらな汽車が走りぬ  
嶋崎 和子

## のぞみ会

晴天を約する如く蝉しぐれ涼風共に流れ入りくる  
石原 幸子  
利花と今ソフトクリームなめ乍ら未来を語る幸せな時  
池田 倫子  
誘拐の拐は手偏に銃なりやアマガに散りし伊藤氏無情  
河野とみえ  
鈴振るは誰ぞと仰げば頬白の母鳥雛を守りて啼けり  
嶋田 清子  
ひとすじに農に生ききしわが履歴ひ孫を抱く八月の木陰  
近森 邦子  
亡き母の玉梓読み捨て捨て難く短き文に重き歳月  
近森万鎖子  
丹精の紫陽花路行きここ佐古は水青葉季ことの外和む  
久武 陽子  
灯あかりにくるめく虫のぶんぶんよひとりにあらず本読むわれも  
松尾 澄  
戦中の粗食に耐えきし日々ありてさつま諸うまし雨に憩ふ日  
山本 房子

